

# 大事な文化財を 調べる 運ぶ 守る

## 学芸員さんは文化財を扱うプロフェッショナル!



あらかわには「荒川区文化財保護条例」により指定・登録された有形文化財と無形文化財があります。文化館ではあらかわの歴史を知ることができる貴重な有形文化財を展示・保管しています。それを守り、伝えるのが学芸員さんのお仕事です。



▲汐入東小学校6年生のジュニア記者たちと、学芸員の亀川泰照さん

### 調べる

あらかわでは土器や古文書など、たくさんの古いものが発見されています。それらがいつの時代のもので、どんなことに使われていたのかなどを調べます。

約4000年前の縄文時代後期を中心とした日暮里延命院貝塚からは、土器、貝殻、動物の骨などがたくさん発掘されています。貝塚とは、当時生活していた人々のゴミ捨て場です。ジュニア記者は、土器の破片(土器片)の調査を体験しました。



▲発掘された土器片。模様を観察すると年代などいろいろなことがわかります

ジュニア記者もブラシを使って掃除を体験! 数千年前の人々が使っていた文化財の泥やほこりを、丁寧に落とします。「学芸員は大切な土器を傷つけないように、作業をする時は腕時計などは必ず外します」と亀川さん

Let's go!

### いぎ、工作室へ



### 文化財の調査を体験!

ブラシで土器片をキレイにした後は、工作室で「拓本」をとる作業を行います。伝統的な複写方法のひとつで、発掘された土器などの模様を記録するための大切な作業です。今回は洗って乾かした土器の模様を複写する「乾拓」を体験!



▲土器片の上に紙を乗せたら手でしっかりと押さえ、鉛筆で優しくこすって模様を複写します。「紙を動かさないでね」と亀川さんがコツを教えてくださいました



▲土器片の模様を複写することができました! 「力加減が難しかったけど、ちゃんと模様が写せて良かった。ちょっと緊張しました」と石川くん

こうやって模様を記録するんだね!



石川裕貴くん

### 運ぶ

文化財を移動するときは台車を使って運びます。小さな段差にも細心の注意を払います。

館内には文化財を運ぶための大きなエレベーターがあります。エントランスの太鼓や山車など大きな文化財も運べます。「こんなに大きなエレベーターは、乗ったことない!」とジュニア記者もびっくり。



▲展示室の裏にある巨大エレベーターへ!

ぶつからないように気をつけて!



岩崎温史くん

### 守る

文化財を守るのも学芸員さんの大切なお仕事です。展示されていない文化財は、収蔵庫で厳重に保管します。

収蔵庫は温度と湿度が1年中一定に保たれています。分厚い扉で守られているので、もし火事になっても庫内の文化財は焼けません。普段ここに入ることができるのは学芸員さんだけです。今回は特別にジュニア記者も見学しました!



▶扉を開けてすぐの前室と呼ばれる部屋です。まずはここに文化財を選びます

15kgもある重い扉を開けて収蔵庫へ。種類によって保存環境が違いため、土器、古文書、浮世絵など種類別の棚に保管されています



### 学芸員さんのお仕事、もっと教えてください!

あらかわの歴史をより分かりやすく伝えるための模型を作ったり、一般の家から見つけた古い物の調査をしたり、歴史的に貴重な文化財の寄贈の手続きをするのも、学芸員さんのお仕事です。みんなも、夏休みの「リトル学芸員」というイベントに参加すると体験できるよ。



文化文政時代(19世紀前半)の千住の川岸周辺を再現した模型。中央の橋は千住大橋です。浮世絵などから当時の様子を調査して、模型の職人と協力して作り上げます



木下恵さん

### 町に文化財を見に行こう!

荒川ふるさと文化館で文化財の調べ方、扱い方、保存について勉強したね。あらかわの町の中にもたくさん文化財があるよ。例えば、「素盞神社天王祭」。今度の6月2日(土)・3日(日)に御神輿が出るから、みんなで調べに行こう。

平成30年1月、南千住六丁目にある素盞神社の「天王祭」が、荒川区無形民俗文化財に登録されました。毎年6月に行われる天王祭は、夏に流行する疫病などの災いを祓い、地域の繁栄を願う都市型のお祭りです。3年に1度の「本祭」(御神幸祭)では、素盞神社の本社神輿の渡御があり、2日間にわたって、本社神輿が南千住・三之輪、三河島、町屋の氏子域をめぐる。本社神輿が出るのは、「本祭」だけですが、それ以外の年も町中に町内神輿、山車などが出て、祭が盛り上がります。今年は待ちに待った本祭。大・中・小の3基の素盞神社の宮神輿が登場します。また、有形民俗文化財に指定されている「三河島山車人形・稲田姫」が境内の神楽殿に、「三河島山車人形・熊坂長範」が荒川中央町会に飾られます。

この時しか見られないあらかわの大事な文化財を見学するチャンスです。ぜひ、みんなで見てくださいね。



### 天王祭のポイント

Point 1 御神輿の担ぎ棒は二天棒! 担ぎ棒と言えは四天棒を思い出すだろうけど、写真の御神輿の担ぎ棒は二天棒で、8.1メートルもあるんだよ。

Point 2 勇ましい神輿振り 御神輿を左右に大きく振ることを「神輿振り」というんだ。素盞神社の子ども神輿を担ぐ子どもたちも大人顔負けの「神輿振り」を披露するよ。

注意してね! 天王祭の二天棒振り。御神輿を左右交互に倒して、振り合います。見学するときは、あまり近寄らず、安全第一を心がけてね!

**荒川ふるさと文化館ご案内**

観覧料: 100円(但し、荒川区民で中学生以下・65歳以上・障がい者およびその介助者は無料)

開館時間: 午前9時30分~午後5時(展示室への入館は午後4時30分まで)

休館日: 月曜(月曜が祝日の場合は開館、翌日休館)、毎月第2木曜(館内整理日)

さらに詳しい情報は、[荒川ふるさと文化館]で検索!